

呉竹総合支援学校再構築に向けた

「呉竹バルーン構想」

共生社会の実現・自立と社会参加

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために個々の可能性を最大限に伸ばす

学校教育の重点

- 〈京都市の総合支援学校〉
- 子どもを「できる存在」として捉え、できる姿を通して「生きる力」を育む
 - 地域社会と協働して社会に生きる子どもに必要な資質・能力を育む
 - 自立と社会参加の実現に向けた生活態度や規範意識を育む

めざす

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る人
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人權を大切にする人
- 児童生徒の主体性を尊重する人
- 授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒を指導・支援する人
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する人
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする人

めざす学校像

- 生命を守り切る学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 教職員が夢や希望をもって働ける学校

推進する

令和2年度

【キーワード】

「地域への発信 ・ 地域での展開」

【授業づくりの視点】「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」

- ① 障害者スポーツによる交流および共同学習を通した障害者スポーツ普及・啓発
「スポーツ交流 大作戦！」
- ② 多様な学習形態・学びの場による学習保障
「広がれ、学びのカタチ 大作戦！」

ソフト面の充実

ハード面の充実

令和3年度

令和2年度

令和元年度

3年構想

令和3年度 of 取組

令和2年度 of 取組

令和元年度 of 取組

推進力

振り返る

呉竹の強み

- 多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
 - ・子どもの自由で多様な表現活動
 - ・ICT活用、芸術系活動、余暇活動の充実など先進的な取組、ユニークな取組
- 迅速な行動力
- 行事に向かうパワー
 - ・学校祭（体育の部・文化の部）などの行事に向けての取組

呉竹の伸ばしたい点

- 学校力
- 小中高の継続性と連続性
 - 各部署の連携と協働
 - 多様な学習形態の編成
 - 教職員の専門性、資質能力の向上
 - 地域への発信と協働

求められる学校力(令和2年度の取組の重点)

新たな教育課程の創造のために

授業づくりにかかわる取組

- 着実な授業改善（学びのMAPの活用、校内研究の充実）
- 個別の包括支援プランの活用（児童生徒のアセスメント等、研修内容の充実）
- 研究授業の充実（授業見学を通した学び合い）
- 図書館教育の推進（選書会や読み聞かせの実践）
- 地域資源の活用（呉竹から地域への発信と地域での学び）

専門性・資質の向上にかかわる取組

- 研修の充実（個の専門性）
- 支援部機能の充実（学校の専門性）（支援部の専門性を担保するための研修と人材育成・校内の支援部活用システムの充実・育（はぐくみ）支援センター業務の再確認と整理）
- コーディネーターを中心にしたOJT（コーディネーター研修の充実）

新たな学校システムの構築のために

仕事の均等化・バランスの取れた

業務の分担にかかわる取組

- 学部の主体性を重視した組織運営
- 会議の充実と活性化（部長会議・ケース会議等）
- 学習の記録（通知表）、指導案等の改定
- 12年間を意識したキャリア教育の実践

新たな学校システム

新たな教育課程

仕事の均等化・バランスの取れた業務分担

授業づくり

専門性・資質の向上

風を受ける

地域・保護者の理解と協力

- 学校運営協議会の活性化
- 学校評価の活用
- 地域や近隣校の理解と協力
- PTA活動の充実

社会の動向・環境

- 働き方改革
- 新学習指導要領の実施
- インクルーシブ教育システムの推進
- 地域資源としての学校
- 校舎再整備

教職員
児童生徒

現状

支援の風